

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 11 巻第 41 号

第 41 週 (10月10日～10月16日)

発行年月日:平成23年(2011年) 10月20日

発行 : 滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

◆ RSウイルス感染症の増加傾向は、過去同時期で最も早い！

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第41週)

- ・一類感染症――報告はありません
- ・二類感染症――**結核 7名**
- ・三類感染症――報告はありません
- ・四類感染症――報告はありません
- ・五類感染症――報告はありません

＊第29週に届出のあった麻しん1名は、届出基準を満たさなかったため、届出は取り下げられました。

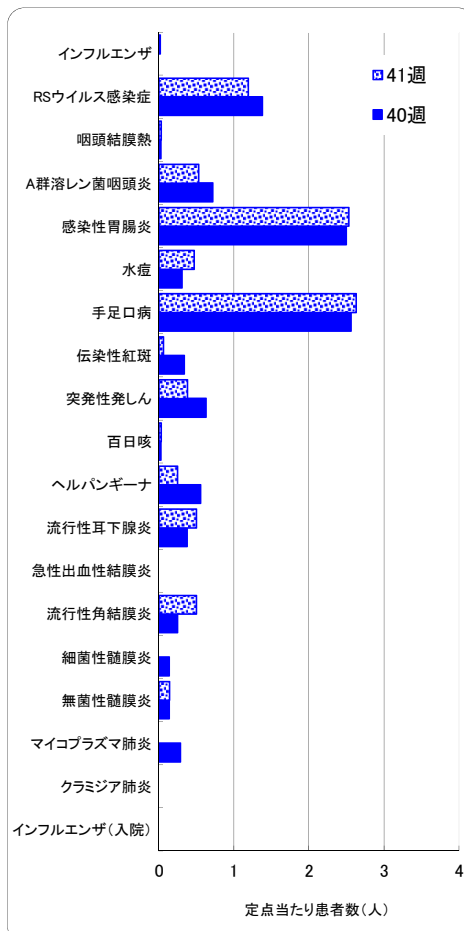
★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(308名)より減少し、今週は281名となっています。今週、増加した疾患は水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、流行性角結膜炎等で、減少した疾患はRSウイルス感染症、伝染性紅斑(リンゴ病)、ヘルパンギーナ等です。先週、甲賀保健所管内で急増した伝染性紅斑は、今週の報告はなく、警報終息基準値(定点当たり患者数1.00)未満となっています(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

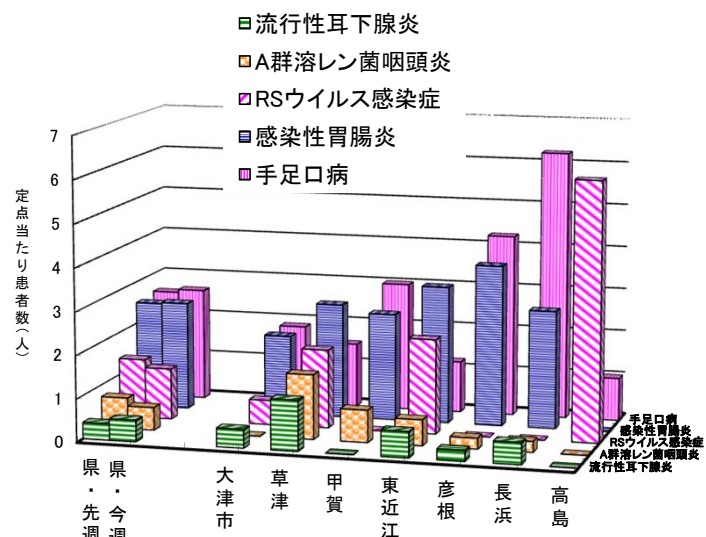
また、RSウイルス感染症*については、過去の同時期と比較して最も早く増加傾向を示しています。RSウイルス感染症の発生状況は、(3)今週の発生状況に示すとおりです。* : 感染症法の改正(平成15年11月5日施行)により届出対象疾患となっています。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警 報――手足口病 (警報開始基準値 5.00、警報終息基準値 2.00) 甲賀および長浜保健所管内



上位疾患の保健所管内別発生状況(第41週)



県全体における上位疾患の発生状況は、①手足口病、②感染性胃腸炎、③RSウイルス感染症④A群溶レン菌咽頭炎、⑤流行性耳下腺炎の順に多くなっています。

手足口病――県全体では先週より微増となり、甲賀、彦根および長浜で多くなっています。特に、彦根で先週より急増しています。

感染性胃腸炎――県全体では先週より微増となり、特に彦根で先週より大幅に増加しています。

RSウイルス感染症――県全体では先週より減少していますが、草津、東近江および高島で多くなっています。特に、東近江で先週より急増しています。

A群溶レン菌咽頭炎――草津で先週に引き続き、やや多くなっています。

流行性耳下腺炎――草津で先週より大幅に増加しています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～五類および五類感染症等を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成23年 累積報告数		平成22年 累積報告数 ^(※1)		平成21年 累積報告数 ^(※2)	
		滋賀 (41週)	全 国 ^(※3) (40週注)	滋賀	全 国 ^(※3)	滋賀	全 国 ^(※3)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	255	23,213	251	26,704	256	26,996
三 類 感 染 症	コレラ	0	8	0	10	1	16
	細菌性赤痢	3	231	2	235	0	181
	腸管出血性大腸菌感染症	66	3,321	66	4,131	27	3,889
	パラチフス	0	20	1	21	0	27
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	48	0	66	1	56
	A型肝炎	0	157	3	346	0	115
	オウム病	0	11	1	11	0	21
	つつが虫病	0	170	2	406	0	465
	デング熱	1	83	2	245	0	93
	マラリア	0	59	0	76	0	56
	レジオネラ症	10	607	10	751	8	717
	アメーバ赤痢	2	627	7	845	10	786
五 類 感 染 症	ウイルス性肝炎	1	192	3	222	3	223
	急性脳炎	1	203	0	241	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	100	2	171	2	142
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	159	3	127	2	103
	後天性免疫不全症候群	4	1,094	1	1,549	9	1,446
	ジアルジア症	1	52	1	80	0	70
	梅毒	6	585	9	621	3	691
	破傷風	1	89	0	106	3	113
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	45	2	121	0	116
	風しん	2	325	5	89	2	147
	麻しん	1	402	1	455	7	732
新型インフルエンザ 等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(※4)	0	0	0	0	138	12,654
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	9	19	0	59	0	34

注：41週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

* 1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在)。

* 2: 感染症発生動向調査事業年報(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年4月確定)。

* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

* 4: 感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間:平成21年7月24日～8月24日)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。

(患者報告数=定点当たり患者数×定点数)

(1)疾病別・週別発生状況(平成23年第36週～41週、9/5～10/16)

定点区分	定点 数	疾 患 名	定点当たり患者数（ ↑ 前週より増加 → 前週と同じ ↓ 前週より減少 ）										
			36週	37週	38週	39週	40週	41週	週				
			9/5～	9/12～	9/19～	9/26～	10/3～	10/10～	37	38	39	40	41
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0	0	0	0.02	0	0.02	→	→	↑	↓	↑
小児科	32	RSウイルス感染症	0.38	0.75	0.34	1.19	1.38	1.19	↑	↓	↑	↑	↓
		咽頭結膜熱（プール熱）	0.44	0.09	0.13	0.03	0.03	0.03	↓	↑	↓	→	→
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	0.56	0.53	0.84	0.72	0.53	↑	↓	↑	↓	↓
		感染性胃腸炎	2.97	2.56	2.75	2.34	2.50	2.53	↓	↑	↓	↑	↑
		水痘	0.34	0.47	0.38	0.44	0.31	0.47	↑	↓	↑	↓	↑
		手足口病	3.34	3.16	2.19	2.81	2.56	2.63	↓	↓	↑	↓	↑
		伝染性紅斑（リンゴ病）	0.13	0.16	0	0.03	0.34	0.06	↑	↓	↑	↑	↓
		突発性発しん	0.66	0.44	0.56	0.50	0.63	0.38	↓	↑	↓	↑	↓
		百日咳	0	0	0	0.09	0.03	0.03	→	→	↑	↓	→
		ヘルパンギーナ	1.66	0.97	0.66	0.41	0.56	0.25	↓	↓	↓	↑	↓
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.66	0.53	0.63	0.72	0.38	0.50	↓	↑	↑	↓	↑		
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		流行性角結膜炎	0.25	0.13	0.25	0.13	0.25	0.50	↓	↑	↓	↑	↑
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0.14	0	→	↑	↓	↑	↓
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0.14	0.14	→	→	↑	→	→
		マイコプラズマ肺炎	0.14	0.57	0.14	0.43	0.29	0	↑	↓	↑	↓	↓
		クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		インフルエンザ（入院）*	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→

* : 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

→: 未集計

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第41週、10/10～10/16)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.02	0.09	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	1.19	0.57	1.83	0	2.20	0	0	6.00	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	0	1.50	0.75	0.60	0.25	0.25	0	
感染性胃腸炎	2.53	1.86	2.67	2.50	3.20	3.75	2.75	0	
水痘	0.47	1.14	0.33	0.25	0.20	0.50	0	0.50	
手足口病	2.63	1.86	1.50	3.00	1.20	4.25	6.25	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.38	0.29	0.83	0.25	0.40	0	0.50	0	
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.25	0.14	0.33	0	0	0.50	0	1.50	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.50	0.43	1.17	0	0.60	0.25	0.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.50	0.50	0	0	0	3.00	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0	

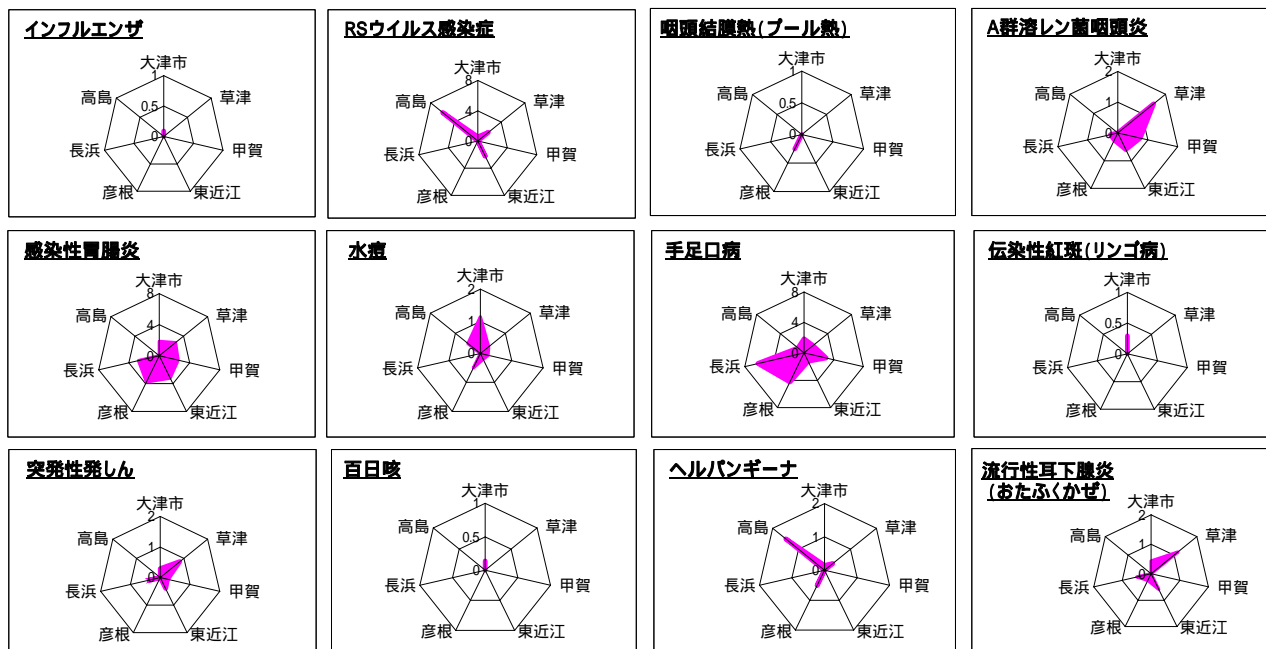
赤・太字
青緑・太字

は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

は注意報発生基準値を超えています。

0 1 2 3 4
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

<水痘>

大津市保健所管内で、先週より大幅に増加しています。

<手足口病>

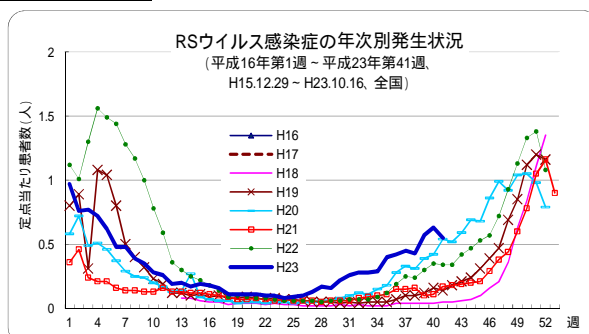
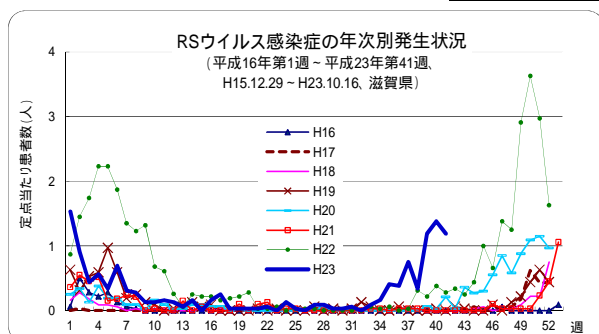
甲賀および長浜保健所管内では多い状態が続き、彦根保健所管内では先週より急増し、約3倍増となっています。

<流行性角結膜炎>

彦根保健所管内からの報告が多くなっています。

RSウイルス感染症の発生状況

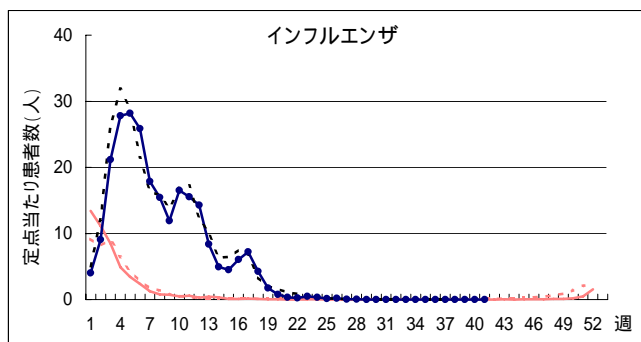
[トップページに戻る](#)



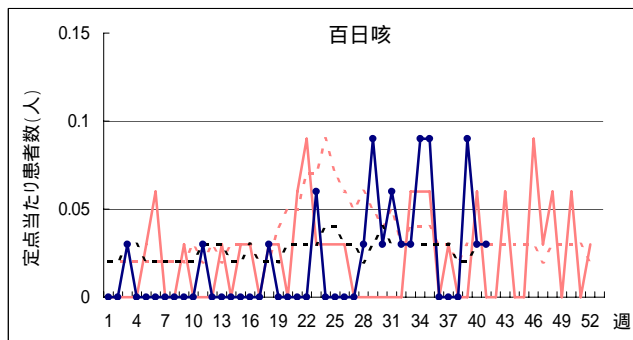
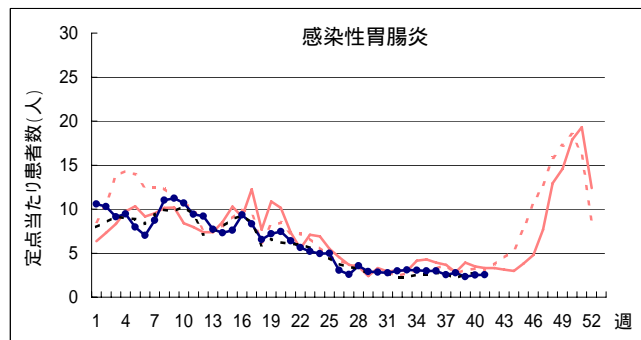
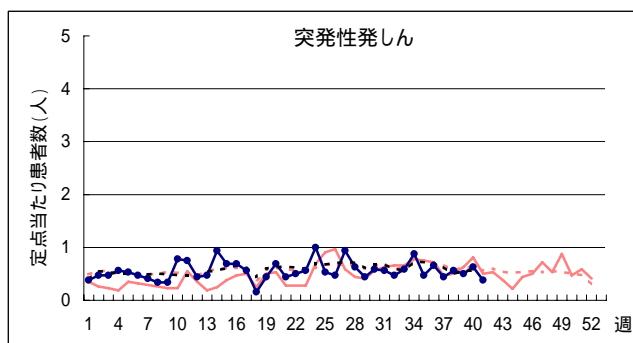
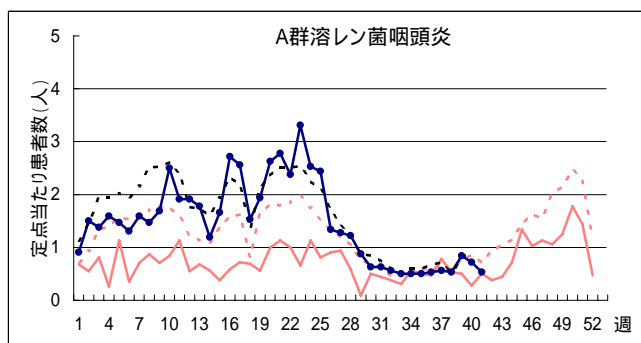
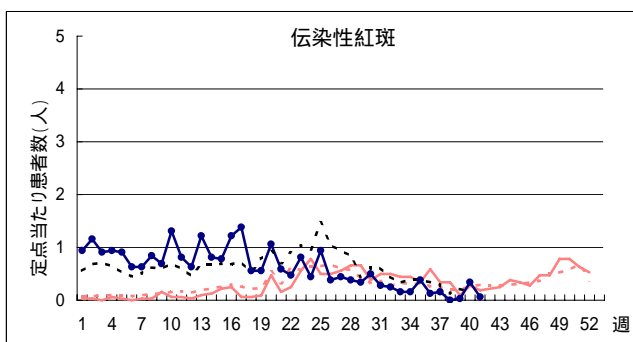
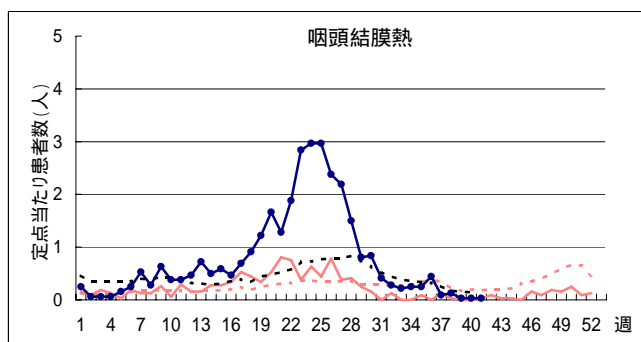
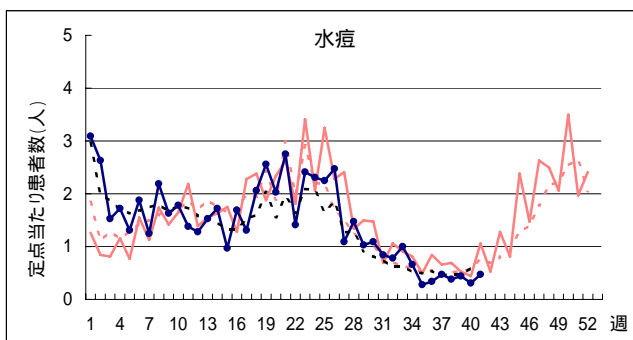
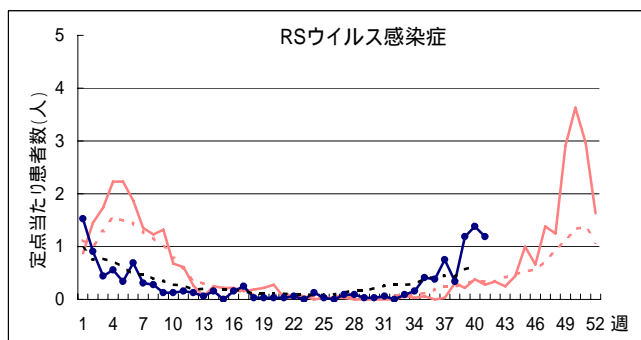
平成23年のRSウイルス感染症の増加時期は、滋賀県、全国ともに平成16年以降では最も早くなっています。また、定点当たり患者数も過去の同時期より多くなっています。

滋賀県における平成23年第34週(8/22～8/28)以降の保健所管内別発生状況は、高島および草津保健所管内で多くなっています。

疾病別定点当たり患者数(平成23年第1～41週、H23.1.3～H23.10.16)



H22 { 滋賀 ————
 全国
 H23 { 滋賀 —●—
 全国
 全国



疾病別定点当たり患者数 (平成23年第 1 ~ 41 週、H23.1.3 ~ H23.10.16)

H22 〔 滋賀 ———— 全国 〕
H23 〔 滋賀 ———— 全国 〕

